

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
こども学科											
造形表現論											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	演習	時間数	15	単位	1
担当教員	井上厚			実務 経験	無	職種					
授業概要											
形や色などの造形の基本を学習します。用具、材料、技法に関する基礎知識や、幼児の造形指導に必要な、造形遊びについて学習する。											
到達目標											
1つの課題に取り組む際に、どのような環境設定をすれば良いかわかるようになる。その課題に見合う適切な材料と用具を選択出来るようになる。また、材料の適切な量や、配合などを判断出来るようになる。教員が示す作り方の例や、他の学生の制作をヒントに自分なりの表現方法を模索し、表現出来るようになる。他の学生の作品の良い部分や、魅力のある部分を評価し、言葉で表現出来るようになる。											
授業方法											
保育現場で使われている材料（絵具、クレパス）などを使いテーマ、課題に沿った制作を行う。材料や用具の配置などの適切な環境設定を習得する。絵の具を使う際には水との適切な配合を学ぶ。また、材料を無駄にすることのないような適切な分量を身につけさせる。											
成績評価方法											
制作手順を絵や図入りでまとめさせ、授業終了時にファイルを提出させる。制作した作品とともにファイルの出来栄や、まとめ方で評価する。											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しないものは作品の提出を認めない。材料や用具の準備、および清掃は授業ごとに毎回協力して積極的に行うこと。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	折り紙の基礎となる、基本的な折り方を身につける。										
第2回	平面構成を行う。絵の具と水の配合、など基礎的な知識、技術を身につける。										
第3回	画面の中に自分の好きな世界を構築し水彩絵の具で描くことを理解し、身につける。										

造形表現論

第4回	様々な素材の持つ表情を活かして1枚の画面を構成することを理解し、コラージュを行う。
第5回	クレパスを使ったスクラッチ技法を理解し、身につける。
第6回	動物のいる風景を描くことを理解し、身につける。
第7回	消しゴムはんこの技法を理解し、身につける。
第8回	樹脂粘土でお弁当をつくる。形を作り上げる技法を理解し、細かい表現を身につける。